

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

春日井市立中央台小学校(愛知県)【指定校】

【取組内容】 ②情報活用能力 各学年に応じた整理・分析

【実践内容】

各学年の発達段階に応じて、教科で整理分析の方法を習得させている。1年生は、書道で手本の字と見比べて正しい字形に気付かせる「比較」から始める。2年生では図工で作りたい作品の形をマッピングで考えさせる「関連付け」を行っている。4年生では国語で自分の意見の根拠を明確化するためにクラゲチャートを使い「理由付け」を学んでいる。資料にはないが、5年生では討論の授業にバタフライチャートを使って賛成・反対の両面から意見文を書くことができるよう「多面的・多角的」な視点を身に付けさせている。このように、各学年に応じて「見方・考え方」を学んでいく。

【実践の振り返り】

本校は単学級であるため、今年度の情報活用能力の育成には、担任の情報活用能力に頼ってしまっている現状があった。来年にはどの学年でどんな情報活用能力を育成するか、カリキュラムを作成し、それに基づいて誰が担任になっても必ず学ぶことができるようにしていく。

